

4月の園だより

令和5年4月5日

生き生きと活動できる幼稚園に！

嫩幼稚園長 堺 正 司

春の柔らかな日差しのもと、令和5年度が始まりました。新年度、嫩幼稚園の園児は112名でのスタートです。新しい環境に子どもたちは不安な気持ちもあると思います。1日でも早く嫩幼稚園に慣れて安心して過ごせるように、保護者の皆様とともにお子さんの育ちを考えていきたいと思っています。

今年度、年少児のうさぎ組、ねこ組は、クラス人数の関係でそれぞれ満3歳児の子どもたちとの混合クラスになります。学年の違う子どもたちと生活することでお互いの良さを引き出し、満3歳児同士の交流を行うなどして、一人一人の成長に丁寧に目を向けていこうと思っています。

嫩幼稚園の子どもたちの良さは、誰とでも明るく笑顔で接することができる場所です。子どもたちは、砂遊びで作ったものができた時や鉄棒で逆上がりができる時などは、「園長先生、見て！見て！」と言って声をかけてくれます。「すごいね！」とその子の頑張りを認めると、とびっきりの笑顔を返してくれます。子どもたちの笑顔からたくさんのパワーをもらい、元気づけられます。

昨年度から新型コロナウイルス感染症が緩和され、少しずつですが、行事や活動がコロナ以前に戻りつつあります。子どもたちが幼児期にしか経験できないことを大切に、行事や活動を計画していきたいと思っています。

嫩幼稚園は、本年度で開園して99年目を迎えました。私は、嫩幼稚園の園長として5年目になります。保護者の皆様の貴重なご意見を真摯に受け止め、この歴史ある嫩幼稚園の保育活動をより充実した内容にしていきたいと思っています。

昨年度、年中さん、年少さんの子どもたちが、一年でしっかりあいさつができるようになりました。新入園児の皆さんも少しずつできるようになっていくといいなと思います。これから、子どもたちが明るく元気に生き生きと活動できる幼稚園にしていきたいと思っています。

子どもたちが毎日、「幼稚園が楽しい！」、保護者の皆様に「嫩幼稚園に預けてよかった」と言っていただけよう職員一同、教育活動に頑張っていきたいと思っています。本年度もよろしく願いいたします。



園庭の満開の桜(4月1日撮影)